

ねりま健育会病医院 野附 研太

功 績 大雪により公共交通機関のトラブルのため、多くのリハスタッフが遅刻してしまう状況のなか、患者さんへのリハや業務への責任感から、雪の残るなか吉祥寺から2時間30分かけて徒歩で朝早く出勤してくれ、献身的に様々な調整業務の協力をしてくれました。その結果、混乱なく、調整も滞りなく行うことができ、スタッフが安心して業務をできる状況を整え、患者へ提供するリハビリテーションも減らすことなく対応ができた功績。

推 薦 者 二瓶 太志

推 薦 理 由 彼の患者を思う真摯な気持ちや責任感、そして今回みせた献身的な業務に対する姿勢は、当院の理念にも掲げているホスピタリティ精神に溢れており、他のスタッフの見本となるものと感じております。しかも野附さんは1年目のPTスタッフであり、新人にもかかわらず、強い使命感を持って、今回の事態に対しても業務にあたってくれており、より一層大変頼もしい存在となっております。また、今回の彼の行動もあって、野附さんは患者や他部門からもさらに信頼を得ることができております。以上のことから、野附さんを理事長賞へ推薦したいと考えております。

内 容

1月23日、前日の大雪により、公共交通機関のトラブルが発生し、多くのリハスタッフが遅刻してしまう状況となりました。野附PTも普段通勤手段をして使用している西部バスが運休となり、吉祥寺の自宅から練馬の当施設までの通勤が困難な状況となっていました。彼は、自分が担当する患者さんのリハビリに穴をあけてはいけない、という強い責任感と、このような交通状況により他のリハスタッフの通勤が困難になり、様々な調整業務が発生する事態を未然に予測して、8時45始業のところ朝5時に自宅を出発し、雪の残るなか2時間30分かけて吉祥寺から徒歩で出勤してくれました。そして、先輩の行う調整業務に対して、献身的に協力をしてくれました。遅刻スタッフからの連絡に対応しとりまとめたり、外来リハビリ患者からの通院可否の連絡も確認するなど、当日のリハビリスケジュールの再調整に快く尽力してくれました。また、各患者や他部門へスケジュール変更など混乱がないように丁寧に伝達をしてくれました。その結果、大きな混乱なく、患者さんへのリハビリの調整も滞りなく行うことができ、患者へ提供するリハビリテーションも減らすことなく対応することができました。彼の今回の行動がなければ、朝の業務調整が効率よく行えず、現場も混乱し、リハビリを削減しないといけない状況にもなっていた可能性があり、大変大きな助けになりました。